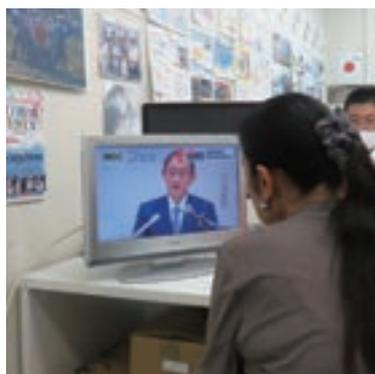
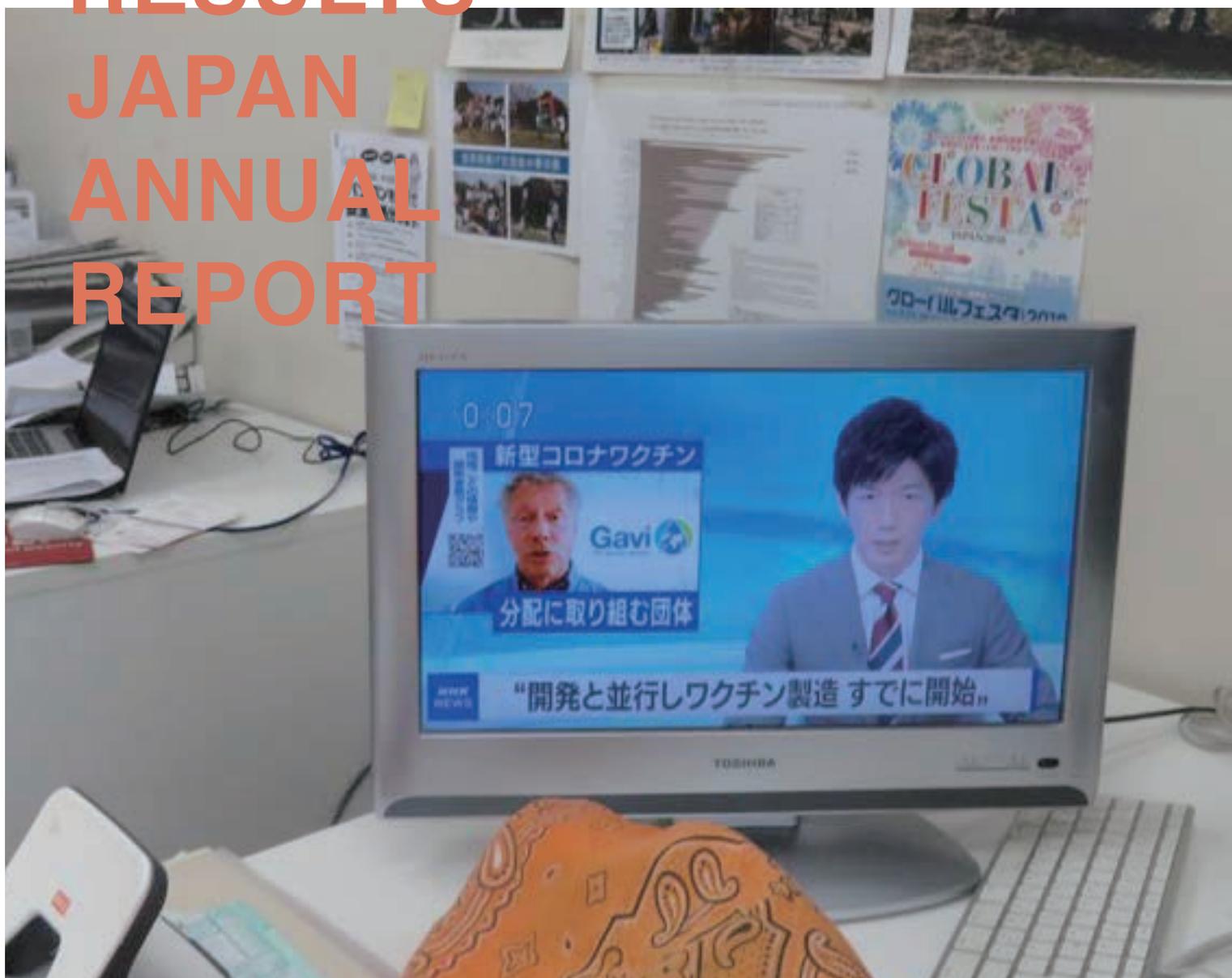


RESULTS JAPAN ANNUAL REPORT



09

September

令和2年度

事業報告書

2020年09月02日

国際的に公平な普及にむけて

日本リザルツが精力的にアドボカシー活動を続けてきた「COVAXファシリテイ」、遂に、9月1日、加藤厚生労働大臣が、政府として「COVAXファシリテイ」への参加の意思を表明されました。

COVAXファシリテイとは：

この枠組みに参加する国は、ワクチン研究開発などの資金を前金として払うことにより、人口の20%相当分を上限にワクチンを確保できる。更に低所得国にはGaviアライアンスを通じてワクチンが配布されるという貢献もできる。

自国を守る事だけでなく、他国への貢献も考慮された仕組みです。

ぜひ今後も各国へ普及して行って欲しいと思います。



2020年09月03日

財務省を訪問して参りました！

本日、村井さんと一緒に人生で初めて、財務省国際局を訪問して参りました。財務省の建物は他の省庁と比べ、昔ながらの建築が特徴的でした。省庁を訪問するのは今日で2回目となりましたが、またもや緊張してしまいました。ただ、対応して下さった方々がとても優しくかったので、良い思い出がまた増えました。今回も貴重な経験を積ませて頂き、ありがとうございました。

外国人もアマビエ好き？

9月1日の東京新聞に、「アマビエ」の絵を描いたロシア人形マトリョーシカを制作したロシア人の方を紹介する記事を見つけましたので紹介します。

マスクをした女の子がアマビエを抱く人形の中に、マスクなしでほほ笑む女の子の入れ子を収め、コロナ禍の現在と克服後の未来を表現したもので、日本からも好反響があったそうです。



2020年09月04日

三久ビルの入り口手すりにサンキューの輪

本日、日本リザルツの事務所に、S様がお菓子をもって御礼にいらっしゃいました。日本リザルツが入っている三久ビルの入り口階段に手すりがつくことになったからです。S様は脳性麻痺の障がいがあり、これまでは入り口3段の階段を上がるために、植木の枝をつかんで身体を支えて登っていました。ビルが改装中のためその事情を、日本リザルツで長年働いてくださっているKさんがビルオーナー様にお伝えしたところ、急遽当初の予定にはなかった手すりをつけて下さることになったのです。

ビルのオーナー様が日本リザルツの事務所に来てくださり、S様は直接お菓子をお渡しすることができました。

S様は「特別なのはお前だからといって、はじかれてしまうことがよくあります。それを、仲間に入れて下さった。生きる権利、命を与えてくださいました。本当に嬉しい」とお礼を言われました。オーナー様は「築50年のビルなので、不便をおかけしている。(手すりを)要望されるまで気づかなくて申し訳ない。まだ不十分かと思いますが手すりは当然のことです」と恐縮されておりました。

実際には、要望されたからといってすぐに対応、計画変更するのは大変だったかとも思います。こうした素敵なお客さまがいらっしゃるビルに入居していることは誇りでもありま

す。

そして、手すり設置の働きかけを行ったKさん、ありがとうございます。まずは行動することがベターワールドにつながるという実践を目の当たりにさせていただきました。

高校生が育てたサラブレッドが2,500万円で 落札

北海道・日高にある静内農業高校が生産した馬「健叶(けんと)」が、このほど、1歳馬市場「2020北海道市場サマーセール」に上場しました。

落札価格は2,500万円(税抜き)。公立で競争馬を育てている、唯一の学校です。

中央競馬や公営競馬は自治体で行われていても、ギャンブル性が強いということで、教育界で競走馬の飼育は歓迎されていませんでした。それを、校長らが産業教育の視点で働きかけ、中央競馬会から雌馬を寄贈してもらい、45年前にスタートしました。

コロナなど、あまり明るいニュースが少ない昨今ですが、高校生たちのがんばりに嬉しくなりここで紹介させていただきます。

リザルツを支援してくださっている方も競走馬と関係があります。

社会と結びついた実践教育は生きた教育です。

ちなみに、2,500万円は高校に入るのではなく、道に納付されてしまいます。道立ですから。そこは、政治の力で、高校生に還元してもらいたいところです。

2020年09月05日

結核対策とアジア開発銀行(ADB)

新型コロナの感染に翻弄されていますが、結核は今も大きな問題です。毎年新たに1万5,000人以上が感染発症、約2,000人が死亡しています。海外から来た人たちが日本滞在中に発症するケースも見られます。結核のような感染症は国境を超えますので、厚生労働省は、今年から条件を満たす人たちに入国前結核スクリーニングを課すことで、海外からの結核の

持ち込みを防ごうとしています。日本の周辺には、カンボジア、インドネシア、モンゴル、ミャンマー、フィリピンといった、人口あたりの結核発症率が世界の中でも高い国々があります。入国前の検査によるスクリーニングは有効ですが、そもそも、その元になるアジア地域全体での結核予防対策が、日本を守ることになるのだと感じます。

さて、アジア地域の開発課題に対応する組織として、アジア開発銀行(ADB)があります。日本政府のADBへの拠出は世界一を継続しています。私は、ADBはインフラ支援中心の組織という印象を持っていました。あながち間違いではないのですが、調べてみると、近年、保健セクターに対する投資が増加しています。

もともと、2020年8月1日時点、ADBが積極的に結核対策を行うプロジェクトはありませんでした。新型コロナ対策では、日本政府は4月30日、ADBに対して1億5,000万ドルを緊急支援として拠出すると表明しました。ADB全体ではコロナ対策として200億ドル規模の予算が組まれています。

ADBには、新型コロナに限らず結核も含めた中長期的な感染症対策をして欲しいと思いますし、これまで整備してきた保健インフラに結核対策を乗せることができないものかとも思います。アジア地域全体で結核対策が進捗することを願っています。

公明新聞・土曜特集に 白須代表のインタビューが

本日付の公明新聞「土曜特集」に白須代表のインタビュー記事が掲載されました。コロナ禍におけるワクチン接種に関して日本を含む各国の動向と、日本が先日参加を表明したCOVAXファシリテートのメリットについて取り上げています。

【土曜特集】コロナ禍で台頭、ワクチン・ナショナリズム／NPO法人日本リザルツ 白須紀子代表に聞く #公明新聞電子版 2020年09月05日付



2020年09月06日

まだまだバッタも大変なアフリカ

以前、ケニアをはじめとするアフリカ諸国でサバクトビバッタという虫が大発生し、農作物に被害が出ているという話題を取り上げました。

異常繁殖は今も続き、なんと、被害はアフリカ、中東、アジアの20カ国以上に広がっているそうです。報道によると、ケニアでは東京都より広い2,400平方キロに及ぶ巨大な群れが確認されているそうです。

ケニアもそうですが、アフリカ諸国は小規模農業に家計を依存している人が多くいます。今回のバッタの大量発生で、農作物を食い荒らされたり、農薬の影響で作物が育たなくなったりするなどの影響が出て、収入が得られない上に、コロナが追い打ちをかけ、更なる困窮に苦しんでいるそうです。

国際機関やNGOなどが支援に乗り出していますが、FAOのキース・クレスマン上級バッタ予報官は「バッタの被害は食糧難や貧困を引き起こし、さらなる人道危機をもたらさう」と指摘するなど更なる被害拡大が懸念されています。



1日も早くこうした事態が解決することを祈っています。

2020年09月08日

壁のない日常生活を

新幹線に車椅子スペース増設という記事が公明新聞に掲載されていました。

ネットでの購入も可能になるとのことです。

車内販売カートが通路を通る度に気兼ねしてきた方々の心の壁(バリア)がフリーになってくれたらと思います。

当団体が入居しているオフィスビルも、バリアフリー入口工事中である。

その設置を提案された方、快く承諾下さったオーナーの気持ちが形になり、ご来所下さる

方が、その都度辛い気持ちにならずお越しいただけるようになるでしょう。

3日に出馬報告のため、菅官房長官は谷垣禎一前総裁宅を訪問されました。谷垣氏は2016年夏、趣味の自転車で転倒し、頸髄損傷の大けがを負って政界を引退された方。「自分が障がい者になり、コロナが怖い感覚がある。国民の皆さんが不安な中、これまで陣頭指揮を執ってきた官房長官が決意をさせていただいたのは国民に安心感を与えるものだ。」と激励されたそうです。

特別視をされず、だれもが普通に日常を過ごせる事が心地よい社会です。壁を感じてきた方々をより深く理解できると、今後どう動くべきかすぐ理解でき、安心感を与える人なのでしょう。



「結核終息のための世界計画」日本語訳、 ジュネーブでデビュー！？

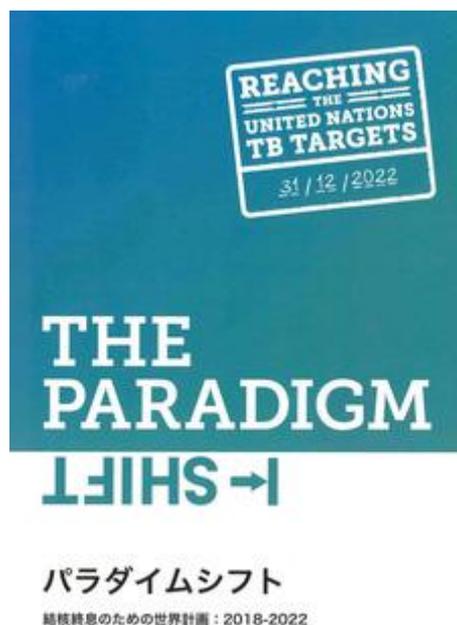
ジュネーブのストップ結核パートナーシップから嬉しい写真が届きました！

写真に登場しているのは、同パートナーシップのルチカ・デイトゥー事務局長とスヴァナ

ンド・サフ事務局次長です。手にしているのは、日本リザルツが日本語訳した、ストップ結核パートナーシップ「結核終息のための世界計画：2018-2022」です。

先日、日本に一時帰国されていた竹中先生がジュネーブに持って帰って下さいました。竹中先生、ありがとうございました。

同冊子は日本で国会議員の先生や関係省庁にもお配りしました。



2020年09月10日

議事録の製本作業を初めてやりました！

今日は初めて議事録の製本作業を行いました！一見すると簡単に思える作業かもしれませんが、いざやってみると、集中力の維持や繊細に作業することはとても大変でした。大学1年生の頃、初めてGGG+フォーラムに参加したときに議事録を送付してもらいましたが、その時はまさか自分がリザルツの議事録を製本するなんて思ってもいませんでした。そう言ったこともあり、今日の製本作業は大変ながらも感慨深いものになりました♪

祝！魔法使いど～らのお誕生日！

9月8日は魔法使いど～らのお誕生日でした。

前日の7日には五十鈴商事の柴田様から豪華なお花をいただきました。

東京オフィスでは白須の72歳のお誕生日をケーキとお茶でお祝いし、色紙を贈りました。最近では携帯メールの打ちすぎでバネ指になったりしていますが、いつも元気に振舞っている白須を見習いたいものです。



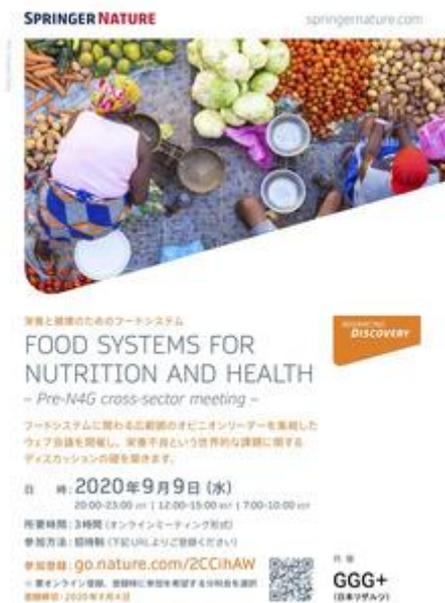
2020年09月11日

世界を結んだオンライン会議『栄養と健康のためのフードシステム』で熱く討論

科学誌「ネイチャー」を発行する「Springer Nature」と日本リザルツが主催する「GGG+フォーラム」が共催で9日夜、『栄養と健康のためのフードシステム』と題したオンライン会議を開催しました。

会議では、まず、山東昭子参議院議長の挨拶文が代読されました。その後、会議全体についての説明があり、参加者はNutrition for Health (N4H)、Business for Nutrition (B4N)、Policy landscape supporting B4N and N4Hの3つの分科会に分かれました。途中、音声途切れたり、マイクが入っていないといったウェブ会議ならではのハプニングもありましたが、フードシステムに関わる世界のオピニオンリーダーたちによる、幅広い議論が行われました。会議はすべて英語で行われました。

日本リザルツ東京事務所では、会議が終わったあとも議論が盛り上がっていました。



GPE理事会議長ギラード氏の投稿が朝日新聞に

日本リザルツがアドボカシーをしている教育のためのグローバルパートナーシップ(GPE)の理事長議長、ジュリア・ギラード氏の論文が、本日組の朝日新聞オピニオン欄に掲載されました。新型コロナの教育特集で3人の「私の視点」が紹介されていますが、もっとも目立つ位置にあります。

新型コロナウイルス対応で、いち早く教育支援に動いたGPEですが、必要としている国全てに対応できていません。GPEに対する日本の拠出はG7の中で最低、全体の0.47%にしかすぎません。ギラード氏が指摘するように、教育大国日本の名に恥じないように、頑張ってくださいと思います。



2020年09月13日

アフリカは異常気象？

日本は残暑が厳しいようですが、皆様、如何お過ごしでしょうか。

ケニアは日本と違い、大きな四季の変動はなく、1年中、日本の夏の軽井沢みたいな過ごしやすい気候ですが、その中でも雨季や若干の寒暖差があります。

しかし、今年は少し様子が違います。

本来なら、9月は寒い時期が終わり、暖かくなってもおかしくない時期なのですが、むしろ寒さは増すばかり。夜は10度前後になることもあります。

寒さだけでありません。季節外れの雨が続き、時には雹(ひょう)まで降ってきます。

ケニアの人も「今年の気候はおかしい」と頭を抱えています。

大人はダウンジャケットやコート、子どもたちも写真のような感じで完全防備です。買い出しに行くスーパーでは、ヒーターが大安売りされています。

異常気象が深刻なのはケニアだけでありません。スーダンでは異常気象による豪雨が原因で洪水が発生。100人近くが亡くなっています。

SDGsの目標13は、「気候変動に具体的な対策を」です。世界各国で起こる異常気象が解決されることを願ってやみません。



2020年09月14日

結核に関するアドボカシーペーパーを議員会館 にお届け

本日、議員会館で結核のアドボカシー活動のために、国会議員の先生方へ結核に関する資料をお渡ししました。

結核はアジア地域で大きな問題です。しかし、アフリカ地域において罹患率や死亡率はアジア地域より深刻です。今、日本政府による、ストップ結核パートナーシップを通じた支援はアジア地域に限られています。アフリカにも支援をお願いしたいと思います。

日本政府にADBへの投資拡大を

本日、国会議員の諸先生方にADB(アジア開発銀行)への支援をお願いするため、GGG+フォーラムの議事録と共にADBのアドボカシーペーパーを配布して参りました。ここ1、2年でADBは保健分野への投資を大幅に拡大しています。ADBの保健分野へのコミットを更に後押しするために、日本政府には、ADBへの投資を拡大し、アジアにおける新型コロナウイルス感染拡大の防止に貢献していただきたいと思います。

GPEの理事会議長ギラード氏の記事を 議員会館にお届け

日本リザルツがアドボカシーしている教育のためのグローバルパートナーシップ(GPE)の理事長議長、ジュリア・ギラード氏の論文が朝日新聞オピニオンに掲載されました。すでに、そのことはブログに投稿させていただきましたが本日、その新聞記事をはじめ、GGG+フォーラムの冊子の資料を70人以上の議員の先生方の事務所にお届けに参りました。

本日は、自民党総裁選。各事務所にはそれぞれの事務所がおす各候補のお写真が飾ってありました。新しい首相が誰であ



れ、教育の開発援助の必要性を理解していただきたいものです。

UNRWAアドボカシー

先週12日(土)読売新聞夕刊にて、バーレーンがイスラエルと国交樹立とのニュースが掲載されていました。イスラエルとバーレーンは、UAE正常化合意調印式に合わせ「平和宣言」に署名します。

しかし、当団体が応援しているUNRWA本部の活動拠点パレスチナは、イスラエルによって占領され孤立しています。

日本リザルツでは、下記のようなツールを国会議員へ配布し、アドボカシー活動を続けております。本日、9月14日(月)も議員会館へ向かい活動しました。分断してしまっているアラブ諸国が、1つの和(輪)になってくれることを願ってやみません。



2020年09月15日

COVAXファシリテイが

NHKのお昼のニュースに！

COVAXファシリテイのことが本日のNHKのお昼のニュースでとりあげられました。

日本は正式にCOVAXファシリテイに参加し172億円を拠出します。これは日本の人口の接種2回分の金額になります。

COVAXファシリテイについては、日本リザルツが政策提言をして、9月1日に加藤厚労相が政府として参加表明をされました。



急いでテレビの画面を写真に撮りましたので紹介いたします。

2020年09月17日

栄養と健康寿命 ～ 日本から情報発信を！

本日、日本リザルツは栄養の勉強会を開催しました。写真はその後のとんかつ弁当です。

今、世界の中でもっとも高齢化が進んでいるのが日本です。ですから今後、健康寿命延伸に関する取組を日本から世界に発信できれば、と思います。

日本ではすでに生活習慣病対策として栄養改善活動が行われています。今までの経験から学ぶことができそうですね。



2020年09月20日

菅内閣発足

9月16日、菅内閣が正式に発足しました。

議連などでお世話になっている先生もいらっっしゃいますね。

コロナ禍による未曾有の事態を解決するには、日本のリーダーシップが鍵となります。

ご就任された先生方の手腕に期待しています。



2020年09月22日

150か国以上がCOVAXファシリテイに参加へ

WHOのテドロス事務局長が会見し、150か国以上がCOVAXファシリテイへの参加を表明したことを明らかにしました。

以下が報道の内容です。

【ジュネーブ共同】途上国へのワクチン普及を進める国際組織「Gaviアライアンス」(本部・スイス西部ジュネーブ)は21日、新型コロナウイルス感染症のワクチン開発に各国が共同出資・購入する枠組み「COVAX (コバックス)」に、日本を含む150カ国以上が参加を表明したと発表した。

COVAXでは、中高所得国が人口20%分のワクチン代金の15%相当額を前払いし、これがワクチン開発に充当される。Gaviがワクチン支援を行っている発展途上国を中心とする92カ国は、前払いを免除されているが、無償でワクチンを受け取れるのか一部経費を負担するのかは確定していない。

9月23日の朝日新聞記事



2020年09月24日

国連75周年

国連は75周年を迎えますが、その存在感が薄れているとの記事が9月23日の朝日新聞に掲載されましたので紹介します。

コロナを巡り米中が対立し、安保理改革では拒否権の発動が増え、重要問題の合意達成が困難になっているとの事です。対立ではなく、協調してコロナや全世界の問題に取り組むべきと考えますが、なかなかそうはなってくれないようです。



2020年09月25日

公明新聞「私はこう思う」に掲載されました！

本日、9月25日付の公明新聞「私はこう思う」に、私が書いた投稿記事が掲載されました！

日本のCOVAXへ参加する意義について、未熟ながらも学生の視点で書かせていただきました。

掲載されるまでに支えてくださった方々に心から感謝を申し上げます。



2020年09月26日

海外での活動

先日、国際食糧政策研究所(IFPRI)の上級研究員の方からメールが届いておりました。

こちらの機関は、現在、アフリカ三カ国で活動をされています。

日本の様々な民間企業・NGOと連携する事で、日本が戦後成し遂げた栄養不足と栄養過多の両方を克服するノウハウをその地域にあった形で上手く応用し、導入・維持する事を進めています。

例えば、お魚を加工する技術を日本のNPOと連携し、現地の方々へその技術を伝える等、といった活動は、魚好きの私にとって応援したくなる活動の1つです。

コロナ禍でも負けない、免疫力維持の栄養と衛生を、その土地・文化にあった形で応用し導入されるプロジェクトが成功されますよう応援しております。

2020年09月27日

比較した事、ありましたか？

当団体の仲間が書いた文章が、昨日26日(土)、東京新聞に掲載されました。

日本の結核死亡者数は、コロナ感染死亡者数よりも多い！とは驚きでした。

結核問題についても、真剣に取り組まなければならぬと強く感じた記事でした。

2020年9月26日（土曜日） 東京新聞



菅総理大臣の国連総会演説

米ニューヨークで国連総会が開催されています。

先日就任された菅総理大臣も、初の一般討論演説に臨まれました。

演説の半分以上がコロナに関する表明で、新型コロナウイルス感染を克服するための国際社会の取り組みに貢献する意向を示しました。具体的には、医療・保健分野での1,700億円超の対外支援のほか、2年間で途上国経済を支える最大5,000億円の円借款を行うということです。

また、来夏の東京五輪・パラリンピックを「安心、安全な大会」とするよう全力を挙げると強調されていました。

新型コロナワクチンについては、各国がワクチン争奪戦を繰り広げる中、途上国を含む各国に公平に流通させるための全面的な支援について言明された点に感銘を受けました。

これからも菅新総理大臣のもと、更なる日本のリーダーシップ発揮に期待したいです。